

2018（平成 30）年度「SD 講師養成研修～人材育成について理解する～」 実施報告

開催日時：2019 年 2 月 14 日（水） 9：30～18：30

開催場所：キャンパスポート大阪 ルーム A

参加者数： 14 名（大学コンソーシアム大阪会員校以外からの参加者 3 名を含む）

参加大学数：13 校（大学コンソーシアム大阪会員校以外 3 大学を含む）

※大学コンソーシアム大阪の研修事業にご支援をいただいている愛媛大学教育学生支援部より SD 統括コーディネーター/能力開発室長の吉田一恵様が陪席された。

1. 研修の目的

自大学における SD 研修の企画・運営ができるようになるための基礎的な知識を身につけることを目的とする。同時に、本研修受講後に受講者がステップ・アップ研修として、教職員能力開発拠点である愛媛大学教育企画室による「SD コーディネーター養成講座」を受講することも想定し、予備的な知識や経験を提供する。

2. 研修到達目標

本研修の到達目標は、以下の 7 つである。

- ① SD 及び SD 講師について説明できる。
- ② スタッフ・ポートフォリオの役割について説明できる。
- ③ メンタリングについて説明できる。
- ④ 「傾聴」の基本を実践できる。
- ⑤ 「傾聴」を用いてメンタリングを実践できる。
- ⑥ 「人材育成ビジョン」の必要性について説明できる。
- ⑦ 各大学が「求める人材」について説明できる。

3. 研修日程と担当講師

研修日程は、以下の表のとおり。

各講義は、大学コンソーシアム大阪会員校と非会員校の職員が担当。（※非会員校）

時間	内容	担当講師
9：30～9：40	日程説明・アイスブレイク	塩川雅美（大阪市立大学）
9：40～10：10	SD と SD 講師について理解する	芳中宗一郎（大阪産業大学）
10：10～11：10	スタッフ・ポートフォリオについて理解する	宮原秀明（大阪学院大学）
11：20～12：20	スタッフ・ポートフォリオを活用したメンタリングについて理解する	井川貴通（桃山学院教育大学※）
12：20～13：00	昼食休憩	
13：00～13：30	傾聴と傾聴を使う場面の例を知る	田原里香子（関西福祉科学大学）

時間	内容	担当講師
13:30～14:30	スタッフ・ポートフォリオを活用したメンタリング実践	瀬尾晃史（学校法人四條畷学園）
14:40～15:40	人材育成ビジョンの必要性を理解する	山咲博昭（関西大学）
15:50～16:50	「求める人材」を見極めるワーク	小林諒太郎（大阪経済大学）
16:50～17:30	振り返り、修了証授与、記録写真撮影	講師全員
17:30～18:30	情報交換会（ネットワーキング）	

4. 研修に陪席くださった愛媛大学吉田 SD 統括コーディネーターからいただいた感想

大学コンソーシアム大阪の研修事業は、2018年4月に本格的に開始されたが、研修事業開始準備段階から愛媛大学教育企画室のご協力とご支援をいただいている。

今回の研修に登壇した講師7名のうち5名は、2018年10月に梅田（関西大学）で開催された愛媛大学主催の「SD コーディネーター養成講座」の受講者であったこともあり、本研修には、愛媛大学教育企画室の吉田一恵 SD 統括コーディネーターが陪席くださった。

以下は、吉田 SD 統括コーディネーターから寄せられた感想である。

SDの義務化・教職協働の明文化を受け、全国の高等教育機関だけでなく、各地区のコンソーシアムにおいても、これに対応すべく様々な取り組みがなされております。大学コンソーシアム大阪の本取り組みは時代の要請を得ており、かつ本研修では、事務職員が他機関で講師を務めることは難しい中、SDコーディネーター（SDC）資格取得条件である他機関での講師歴を担保することができるこの仕組みは、画期的なものと考えます。塩川コーディネーターの知見と実行力に感心・感謝しております。

本研修に参加させていただき、SDC資格取得を目指されている方々が、愛媛大学関係以外で講師を務められる場面を直接拝見することは同養成講座のフォローアップの機会としても有効なものとなりました。当日は、講師や受講生が前のめりで人材育成への思いをぶつけ合う熱い研修となり、とても楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。

SDC養成講座が支援する「SD講師として、その役割や求められる能力を理解し、実際のSD推進に活用できる具体的手法を身につけること」の実践を目の当たりにし、高等教育機関が連携して人材育成へ取り組む事ができるとの大きな期待が広がりました。今後も、皆様が、体系的・段階的・継続的にSDを推進され、SDの現場で一緒にできることを真に楽しみにしております。

（愛媛大学 教育企画室 SD 統括コーディネーター/能力開発室長 吉田一恵さまより）

5. 研修終了後の参加者からのアンケート結果については、「参加者アンケート」に掲載。

6. 研修参加者の声（大学名五十音順、敬称略）

※研修統括者の塩川から依頼し、研修参加者 14 名のうち 2 名に執筆いただいた。

今回の研修で、「スタッフ・ポートフォリオ」を用いたメンタリングの手法や人材育成ビジョンの考え方など、SD全般に関する内容をワーク形式で学ぶことができ、今後の業務を遂行していくうえで大変参考になりました。講師役が同じ大学職員である研修はこれまで受講したことがありませんでしたが、現場の実状に即した観点での説明は大変わかりやすく、また質疑応答も踏み込んだところまで伺うことができ、大変有意義であったと思います。そして何より、他大学の方と意見交換やコミュニケーションができことは、自身にとって本当に刺激となる機会になりました。

今回学んだ内容を活かし、本学のSD研修体系の検討を進めていきたいと思います。

（学校法人 大阪電気通信大学 総務部総務課 羽藤大資さま）

SD研修の講師養成といった多様性のあるテーマの中で、明確な目標設定の元、多方面からの研修内容は非常に濃密で、大変勉強になりました。研修を通し、実際に大学が求める人材像の具体化、そしてそれに則した人材育成のための研修の在り方が大切だということ、また人材育成の根幹となる「人を知る・理解する」ということの手法として傾聴やスタッフ・ポートフォリオの活用等、具体的な方法を学ばせていただき、私の中で大変貴重な知識となりました。一緒に研修をさせていただきました、他大学職員の方々の高い意識や、講師の方々の熱意に触れることができ、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

（大阪 私立大学 総務担当 女性）

（本報告全体の文責：大学コンソーシアム大阪 SD研修コーディネーター 塩川雅美）